

労働市場の概要（平成29年1月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成29年1月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.78倍となり、前月と同水準。
前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.3%増加し、有効求職者数(季節調整値)も0.8%増加した。また、新規求人数(季節調整値)は9.2%減少し、新規求職者数(季節調整値)は0.2%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(2.0%増)、製造業(5.9%増)、運輸業・郵便業(6.9%増)、医療・福祉(5.0%増)、サービス業(他に分類されないもの)(5.9%増)で増加したものの、卸売・小売業(5.4%減)、宿泊業・飲食サービス業(19.7%減)で減少したことから、全体でも対前年同月比0.6%減と3ヶ月ぶりに減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で1.6%増と5ヶ月ぶりに増加した。

有効求人倍率(季節調整値)は、5ヶ月連続で1.7倍台となり、高水準が続いている。
県内の雇用情勢は改善が進んでいる。

1 有効求人倍率(季節調整値)

1月の有効求人倍率は1.78倍となり、前月と同水準。

(1) 有効求人(パートを含む)

○ 1月の有効求人は52,324人で、対前年同月比(原数値比較)で10.9%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも0.3%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で17ヶ月連続の増加となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

○ 1月の有効求職は27,405人で、対前年同月比(原数値比較)で3.8%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.8%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で48ヶ月連続の減少となった。

(3) 1月の正社員の有効求人倍率は1.26倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

1月の新規求人倍率は2.40倍となり、前月に比べ0.25ポイント低下。

(1) 新規求人(パートを含む)

○ 1月の新規求人は19,878人で、対前年同月比(原数値比較)で0.6%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも9.2%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で3ヶ月ぶりの減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	2.0%の増加	(9ヶ月連続の増加)
製造業	5.9%の増加	(3ヶ月連続の増加)
運輸業・郵便業	6.9%の増加	(3ヶ月連続の増加)
卸売・小売業	5.4%の減少	(8ヶ月ぶりの減少)
宿泊業・飲食サービス業	19.7%の減少	(3ヶ月ぶりの減少)
医療・福祉	5.0%の増加	(9ヶ月連続の増加)
サービス業	5.9%の増加	(2ヶ月連続の増加)

(他に分類されないもの)

(2) 新規求職(パートを含む)

○ 1月の新規求職は7,839人で、対前年同月比(原数値比較)で1.6%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも0.2%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は5ヶ月ぶりの増加となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は578,853人で、対前年同月比2.3%の増加となり、85ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,171人で、対前年同月比7.2%の減少となり、受給率は1.1%となった。